

施策 1

保育料の負担軽減

問い合わせ こども課 ☎9130

令和 6 年度から認可保育施設に通う 0 歳から 2 歳児の第 1 子の保育料を半額にしました。

※ 3 歳から 5 歳児クラスは全員無償です

●負担額

	令和 5 年度まで	令和 6 年度から
第 1 子	全額	半額
第 2 子	半額	半額
第 3 子	無償	無償

施策 2

こども医療費助成制度の助成対象年齢拡大

【申請不要で受給者証を送付します】 問い合わせ こども課 ☎9130

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して医療を受診できるよう、令和 6 年 9 月から、こども医療費助成制度の助成対象年齢を拡大します。

・助成対象年齢の拡大

これまで 0 歳～中学 3 年生までのお子さんが助成対象でしたが、通院・入院とも 0 歳～高校 3 年生※までのお子さんが助成対象になります（※満 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで）。

・申請は不要です

8 月 31 日時点で市に住民票があり、新たに対象となる人がいる世帯へ申請不要で受給者証を送付します（8 月末に送付予定）。

※ 9 月上旬までに受給者証が届かない場合は問い合わせてください

※ 9 月 1 日以後に転入した場合は申請が必要です



こども医療費助成制度

区分	現行	改正後
0 歳～6 歳児（未就学児）	通院・入院とも無料	変更なし
小学生	通院・入院とも自己負担 500 円/1 日	変更なし
中学生	通院 対象外 入院 自己負担 500 円/1 日	通院・入院とも自己負担 500 円/1 日（入院 14 日/月まで、通院 4 日/月まで）
高校生※	通院・入院とも対象外	

※在学・就労は問いません

子育てするならはつかいち

問い合わせ 子育て応援室 ☎9129 こども課 ☎9197

オールはつかいちで、こども・子育て世代を見守り、応援し、安心感と温もりのあるまち、こどもたちが健やかに育つまちを目指すために、令和 6 年 2 月 14 日、松本市長が「こどもが主役のまちはつかいち宣言」を行いました。



こどもが主役のまち はつかいち宣言

「こども達がたくましく育ち、笑顔あふれるまち」
「このまちでこどもを育てたいと思えるまち」
そんな活気にあふれ、安心感と温もりのあるまちであり続けたい。
そのために廿日市市は、こども達を取り巻く環境をまっすぐに見つめ、こども、子育て世代の声を聴き、まち全体で見守り、応援し、未来を担うこども達が様々な体験を通して、まちに愛着を持ち健やかに育つ「こどもが主役のまち」の実現に向けて全力で取り組みます。

令和 6 年 2 月 14 日
広島県廿日市市長 松本 太郎



◀市長メッセージ動画はこちらから

「妊娠・出産・子育てを安心・安全に楽しく」

妊娠・出産・子育て期を通して、妊婦さんや子育て中のご家族を切れ目なくサポート



おもちゃがいっぱいあって楽しいね



お気軽にご利用ください

各開館時間など、詳しくは二次元コードを確認してください▼



- ・大野子育て支援センター（フジタスクエアまるくる大野 1 階）☎9016
- ・佐伯子育て支援センター（津田児童館内）☎2391
- ・廿日市子育て支援センター（山崎本社みんなのあいプラザ 1 階）☎1612
- ・地御前子育て支援センター（学研廿日市市多世代サポートセンター 1 階）☎9016

問い合わせ

0 歳から就学前の子どもと保護者がいつでも気軽に立ち寄れるオープンスペースです。子どもに人気の遊具や手作りおもちゃなども充実しています。
※プレイルームの利用は予約が必要です

子育て支援センター

サポート施設 2



ママさんたちと直接お話することで不安がやわらぎました

保健師や助産師に相談できます



相談や乳児の身体測定は予約不要です

実施するイベントなど詳しくは二次元コードを確認してください▼
問い合わせ ☎9252（学研廿日市市多世代サポートセンター 1 階）



相談日時 月～土曜日の 9 時～16 時
※祝日・年末年始を除く

※イベントの参加は予約が必要です
妊娠期からおむね産後 1 年の子育てを家庭をサポートする施設です。相談支援のほか、マタニティスクールや産後ヨガなどのイベントも実施しています。

産前産後サポートセンター

サポート施設 1

